

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 2 月 4 日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|---|----------|
| 社会福祉法人 康和会 | 特別養護老人ホーム オレンジガーデン | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守りロボット | 株式会社バイオシルバー ①『bio next (バイオネクスト) 人感センサー無し』 ②『bio next (バイオネクスト) 人感センサー付き』 型式：①BSR03NRXHL・②BSR03NRX | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 2 年 12 月 28 日 | ①3セット ②2セット | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ベッドからの転落事故や転倒事故等の事故リスクが高い方から対象入居者を選定し、毎日使用する。 「本日より長期入所となる。居室：低床ベッド+離床センサーB+衝撃吸収マットレス使用。19：00 臥床後、センサー反応あり。訪室・傾聴行くと「私の実家が心配」や「ここは〇〇ですか?」との訴えあり。23：30 センサー反応あり、訪室すると上体を起こしている氏を発見する。」R3.1.4 ケース記録参照。センサー反応により転落事故を防止することが出来ている。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 導入により転落転倒の事故を減らすことができ、利用者が安全に生活することができる。事故リスクを軽減することによる職員の精神的負担軽減、事故を減らすことにより、 <u>間接業務である報告書の作成や、受診、その他調整の時間が軽減される。</u> また、これまでのセンサーより誤報が少ないため、 <u>訪室の回数を減らすことができ、業務時間の削減及び精神的負担の軽減に繋がっている。</u> | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 起き上がりセンサーについては使用方法も簡単であり、センサーの精度も高いため問題なく使用できている。人感センサーについては設置する位置の微調整が必要であり、設置場所を間違えると誤報に繋がってしまう。メーカーに問い合わせレクチャーを受ける予定である。 | | |